



## Mr. Anthony Desmond 先生 退任式

7月22日にALTのAnthony Desmond（アントニー・デズモンド）先生の退任式が全校放送を用いて行われました。先生は香住で5年間勤務され、英語科の専門科目やディベート、スピーチ、エッセイ、英検の指導に尽力されました。普通科の英語表現の授業や中学校での出前授業、福岡県に新しく着任するALTの講義なども担当されていました。日本語検定1級を有し、空手に親しみ、ユーモアを楽しむ人柄で人気を博した自慢の先生です。イギリス帰国後、大学院に戻り、新たに法律学を学ぶことにしているそうです。

第18回福岡県高等学校英語ディベート大会  
-The 18th Fukuoka Prefecture English Debate Contest for High School Students-



### Anthony 先生 退任スピーチ全文（先生はご自分で日本語原稿を作成され、放送も流暢な日本語で御挨拶されました。）

このスピーチで何を言えればいいか、長い間悩んでいたもので、原稿を書くのにかなり時間がかかりました。日本語に翻訳するのにも、かなり時間がかかりました。教師として皆に話す最後の機会ですから、皆さんにアドバイスをいくつかしようと思います。

自分が高校生の時に戻れるなら、どんなことを知りたいだろうと想像してみました。高校生は、よく「夢は何ですか?」と聞かれると思います。「どんな仕事をしたいか」、「どんな大学に入学したいか」、「どんな専攻を選びたいか」、様々なプレッシャーがあると思います。自分だけが悩んでいて、周りの人は皆な夢を見つけていると感じる人もいるかもしれません。ですが、もちろん本当はそうではありません。高校生のうちは、本当に何をしたいのか、まだ解らなくていいと思います。自分の夢も分からなくていいのです。世界は広いし、世の中に面白いことはたくさんあるのだから、自分に一番ふさわしい道など、まだ分からなくて当然です。だからこそ、今のうちに、たくさん新しいことに挑戦してみたほうがいいと思います。たくさん新しい経験をして、新しい人と接し、世界について学んでください。そうすると、本当に自分が心から楽しめることを見つけられると思います。新しいことに挑戦してみると、人生が思がけない方向に進むことだってあります。

知っている人もいると思いますが、日本に来る前、私は音楽の教師でした。イギリスで就職の内定が決まっていたため、一年間日本で働いて、帰国する予定でした。しかし、日本の生活が楽しすぎたので、プランを変えて、一年どころか、あっという間に5年間滞在することになりました。つまり、新しい経験に対してオープンであることが大事です。考えを変えると、意外と好きなことが見つかる可能性があります。同じように、夢を諦めることがあっていいと思っています。妙な発言かもしれませんが、「諦める」ことはいつも悪いというわけではありません。たとえば、エンジニアになりたいと思っていたとして、必死に勉強して、試験に合格し、免許をとって、キャリア始めます。けれど、自分の想像とは全然違って、その仕事を楽しめないとしたら、本当にそのような道に進むべきでしょうか。想像した仕事と、その仕事の現実とはたぶん違います。ずっと憧れていたものでも、選んだものが実際に自分に合っていないなら、新しい夢を探していいと思います。そこまで積み重ねた経験やスキルは、新しい道を探すために役に立つと思います。時間の無駄にはなりません。三日坊主のように、難しくなったら簡単に頑張らずに諦めていいとは言っていません。大事なのは、本当に苦しいなら自分のミスを認め、新しい道を探していいということです。ほかの選択肢があるのなら、ずっと我慢していやなことを続ける理由はありません。周りの人の意見を気にして、不幸でいつづける必要はないのです。自分に何が合わないのかを知ることも大事な経験になります。そうすることで、より満足で価値のある生活を送ることができると思います。人生において、選択肢が少ないと感じることがあるかもしれません。高校から大学に行って、卒業したら就活して、退職まで働きます。そうやって言うと、簡単に感じますが、その道の中には、たくさんの選択肢や道が広がっています。今の道にとどまっているということは決してないのです。ありがたいことに、私たちは恵まれた場所に生まれたおかげで、さまざまな可能性を持っています。感謝を示すためにも、その可能性を最大限に生かすべきです。あの時もっと頑張れば良かったとか、もっと挑戦すれば良かったと、後から後悔することほどいやなことはありません。後悔しないように、怖がらずに挑戦して、人生で手に入れたいと思っているものを手に入れてみてください。怖いと感じていても、自信を持つまで待たないこと。リスクを取って、したいことに成功したら自信の源になるからです。キャリアでも、プライベートでも、人生は一回しかありませんので、自分の好きなもののために過ごしてほしいです。

最後に、みなさんに感謝を伝えたいと思います。この5年間本当にありがとうございました。香住丘高校に勤められて光栄でした。この経験のおかげでさまざまなことを学び、日本にいる間に想像以上に成長することができました。外国に住むことには多くの苦勞がありますが、苦勞と遭うからこそ、良いものの価値を解るようになったと思います。これから、皆さんは将来色々な苦勞に遭遇するかもしれません。

最後に John Lennon の言葉を、皆さんに送ります。“Everything will be ok in the end. If it's not ok, it's not the end.”

「最後にきっと大丈夫になる。大丈夫でないのなら、今が最後ではないということだ」。以上です。

